（気候変動適応センター）

生物季節でみる気候変動による福島県内の動植物の変化について（カエデ・イチョウ編）

福島県　○蛭田 真史、大竹 駿

LCCAC ふくしま

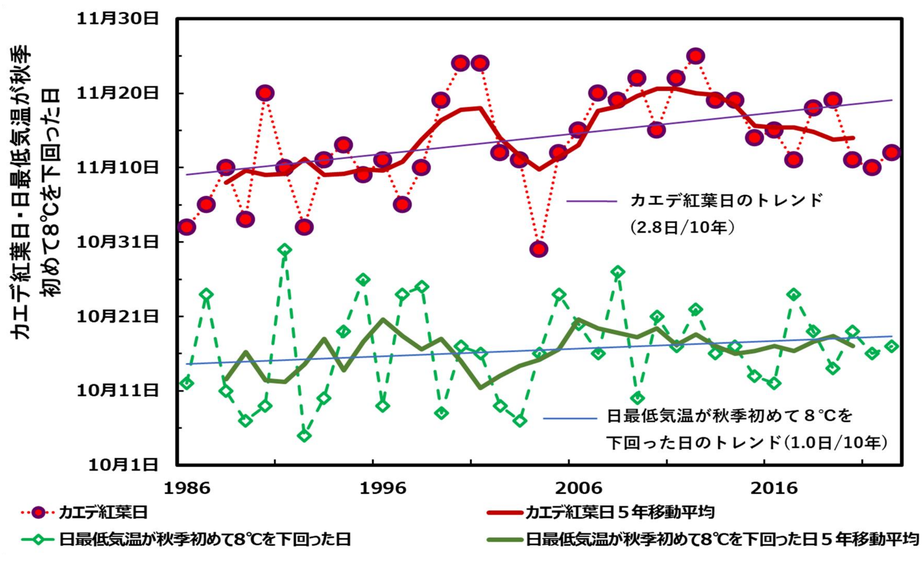
福島県環境創造センターでは、気候変動の適応策に関する情報収集・分析などを実施するとともに、県民が気候変動を身近に実感し、適応策を自ら進んで実践してもらうために、県民に気候変動に関する情報をわかりやすく提供する取組を進めている。そのため、気候変動による動植物への影響として、福島地方気象台が観測しているカエデ・イチョウの紅葉・黄葉、落葉の生物季節観測データとアメダス福島の気温の変化等の気象データの関係について解析した。

カエデの紅葉・落葉

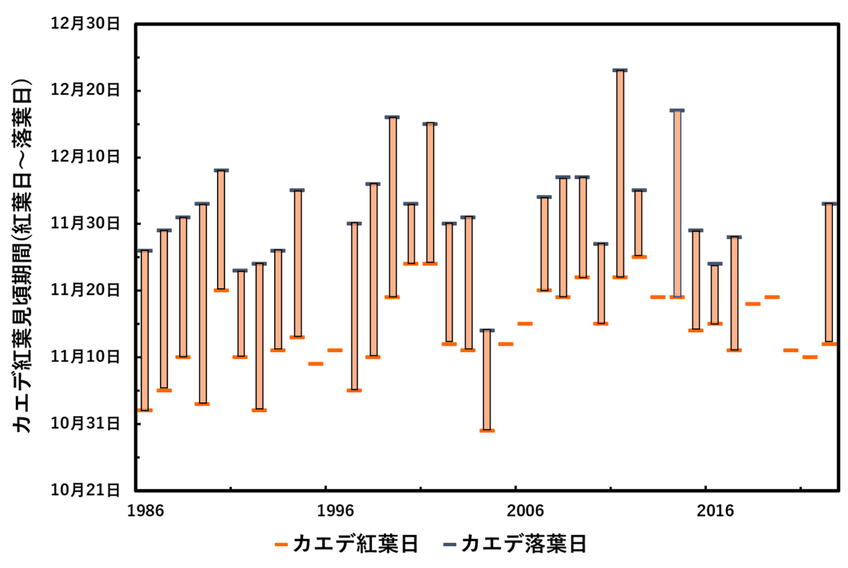
カエデ類については、朝方の最低気温が8～9℃に下がると、紅葉しはじまるといわれていることから、福島におけるカエデの紅葉日と日最低気温が秋季初めて８℃を下回った日の経年変化をみると、ともに年々遅くなる傾向がみられた。

また、カエデの紅葉見頃期間（カエデ紅葉日～カエデ落葉日）の経年変化をみると、紅葉日が年々遅くなり、期間が短くなっている傾向がみられた。

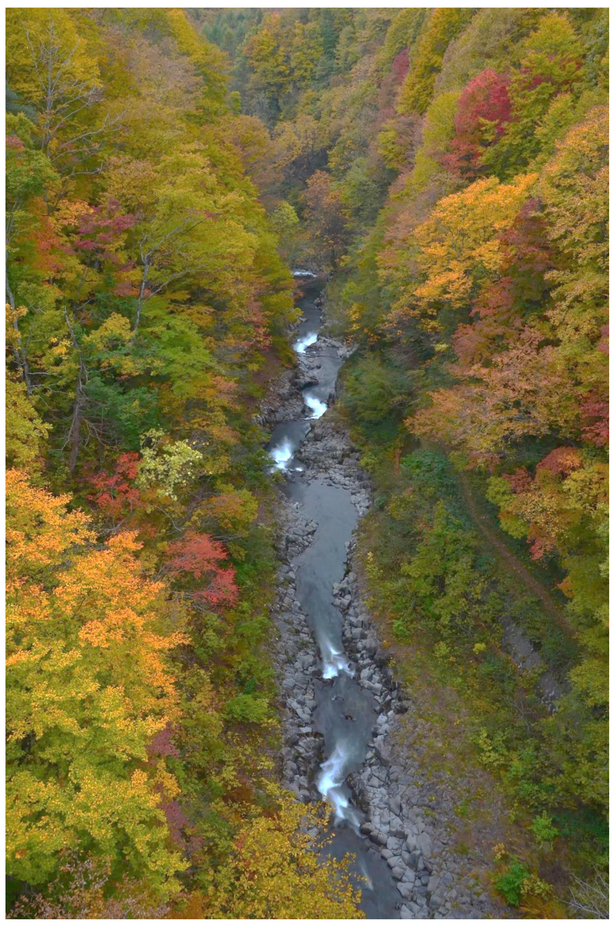
今後、気候変動で秋季の気温が上昇すると、カエデの紅葉日がますます遅くなり、紅葉の見頃期間が短くなることが予想される。



カエデ紅葉日と日最低気温が秋季初めて８℃を下回った日の経年変化



カエデの紅葉見頃期間の経年変化



中津川渓谷（猪苗代町）
猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品

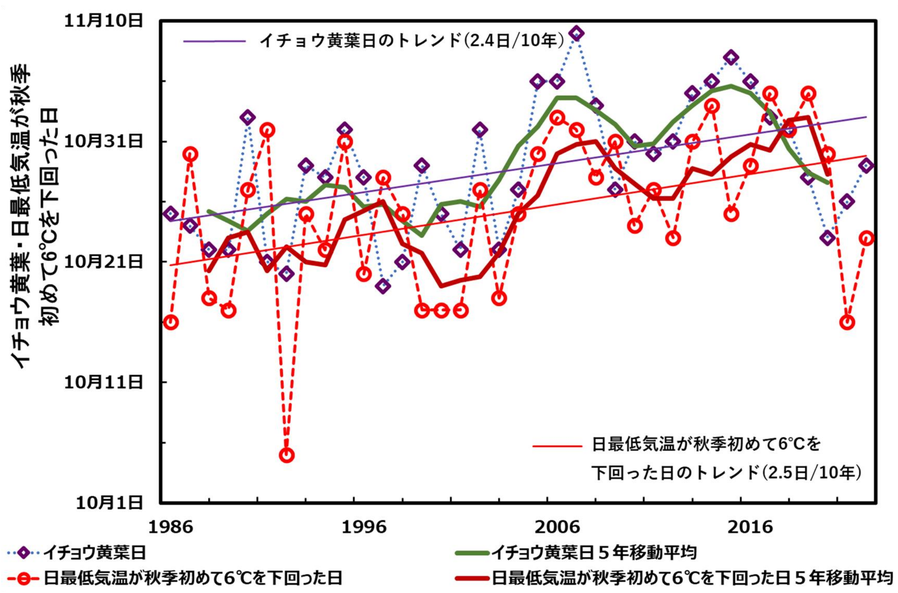
イチョウの黄葉・落葉

イチョウについては、北ヨーロッパで秋に初めて6～7℃以下の気温に遭遇すると、約2週間後に黄葉が始まるといわれることから、福島におけるイチョウ黄葉日と日最低気温が秋季初めて6℃を下回った日の経年変化をみると、ともに年々遅くなる傾向がみられた。

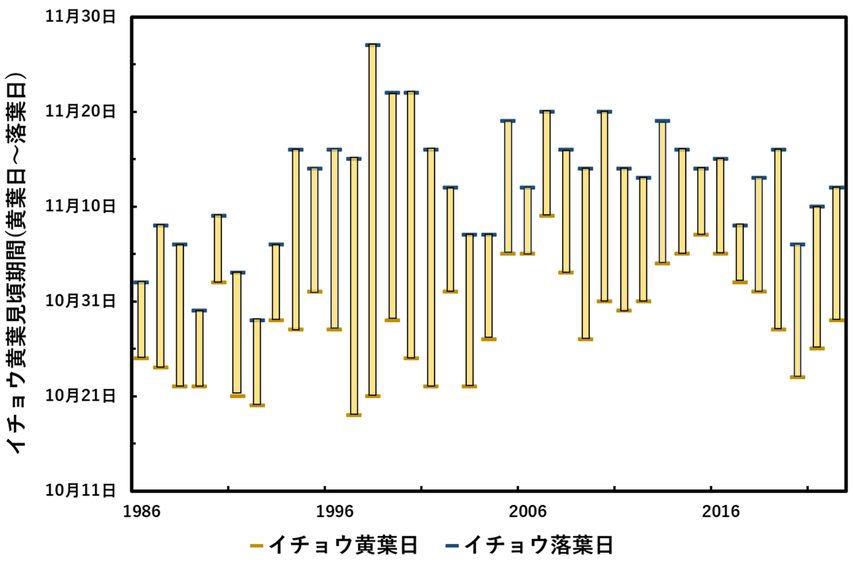
また、イチョウの黄葉見頃期（イチョウ黄葉日～イチョウ落葉日）の経年変化をみると、黄葉日は年々遅くなっているが、期間は変わらなかった。

今後、気候変動で秋季の気温が上昇すると、イチョウの黄葉日がますます遅くなることが予想される。

新宮熊野神社長床のイチョウ（喜多方市）
（画像データ提供：福島県観光物産交流協会）



イチョウ黄葉日と日最低気温が秋季初めて６℃を下回った日の経年変化



イチョウの黄葉見頃期間の経年変化